

こんな人材が欲しい



日東インダ株式会社
代表取締役社長
鍋島 孝敏さん

「役に立つ」ということが分かれれば
想像以上に仕事が楽しくなる

中小企業は人手不足ですので、「こんな人材が欲しい」というより、「来ていただく方はみんな欲しい」という思いです。

学生さんたちには、まず私たちの仕事に興味を持っていただきたいと思います。採用は会社の重要な職務ですので、企業説明会などでは私自身が直接学生さんたちに説明をするように心掛けています。

計量機器といえば、体重計くらいしか思い浮かばない学生さんがたくさんいます。実はいろいろな業界で役に立っていて、原料も計るし、できた製品も計るし、廃棄物も

日東インダ株式会社
業務用計量機器メーカー。自動計量包装付機、対面用電子計算ハカリ、電子式台ハカリ、枝肉掛計量機、トレーサビリティ管理計量システムなど、さまざまな業界に多彩な計量機器を送り出している

所在地
仙台市若林区卸町 5-3-5
TEL 022-235-3561
FAX 022-235-3519
<http://www.ishida.co.jp/nitto-ishida/>

い

計るわけです。私たちの生活にとって、「計ること」はなくてはならないものです。この辺りの話をして、生活の中で「役に立っている」ということが分かる、想像以上に仕事に対して興味を持っていただけていると思います。

計量器の製造は理系の仕事で、文系には無理だと思える人が多いです。しかし、今「不得意」だと思っていることが、後に自分の天職になるかもしれません。人間は自信があることに対して「なめてかかる」ことがあります。私は多少「不得意」だと思っている人の方が、まじめに勉強して誠心誠意仕事をするように感じています。

地域に仕事を創出していきながら
企業も人材教育の一翼を担っていく

4月に県内の中小企業約50社と合同で入社式と1泊の新人研修を行います。親会社である「インダ」への研修もありまして、秋にもフォローアップ研修を行います。



1キログラムは「国際キログラム原器」と呼ばれる人工物の重さと決められている。日東インダには、これに準じた天秤があり、検査用ハカリの調整に使っている



東北に存在する企業の一員として「安心の証明・信頼性の保証」という役割を果たしながら地域の産業の再生・復興に貢献している



鍋島社長が代表理事を務める宮城県中小企業家同友会は、東北工業大学などと地元への就職支援・教育の場への参加を目指した包括連携協定を結んでいる

人は仕事を通して成長していくものです。ですから私は、会社に入ってから「化ける人」に興味があります。東北工業大学の環境エネルギー学科からも、今春ひとり入社していますが、一人前の営業として「化け」はじめています。

私は、学校と企業の両方が協力して人材を育てていくことの必要性を感じています。会社で役立つ教育だけではなく、「社会力」をつける教育をしなければ、お客様も受け入れてくれないと思っています。

現在、大学と連携して次世代を担う人材を育てていくことを目指しています。私が代表理事を務めている中小企業家同友会では、東北工業大学と就職支援・教育という部分で提携しています。毎年、大学が行う企業説明会にも積極的に参加しています。

わが社は地域に根ざした会社であり、地域に仕事を創出することを使命のひとつと考えています。ぜひ、学生の方々にも「仕事を通して社会や地域の役に立つんだ」という意識を持って入社してほしいと思っています。



「問題解決能力」を育成するために、小祝教授が所属する環境エネルギー学科では、一年生セミナー研修で環境やエネルギー問題に関わるテーマについてディベートを行っている



毎年、東北工業大学独自で企業説明会を開催。首都圏・東北6県から270～280社が集まるという



環境エネルギー学科でも独自に中小企業家同友会との共催で企業説明会を実施。より地域に密着した形で交流が生まれている

学生に考える機会を与え「問題解決能力」のある人材を育成

企業が求めている人材とはどのようなものでしょうか。本学では、「問題解決能力がある人材」「対人関係能力を持った人材」だと考えています。「創造から統合へ、仙台からの発進」というスローガンのもと、地域の文化と産業の発展に貢献できる問題解決能力を備えた人材づくりを進めています。

環境エネルギー学科では一年生セミナー研修において、環境やエネルギー問題をテーマに、お互いに議論し合い解決の道筋を導き出す「ディベート」を取り入れています。はじめは遠慮がちだった学生も回を重ねるごとに活発に議論しています。経験を積み重ねていきながら、問題解決能力を身に付けていくことを期待しています。

「キャリアトレ」と称する就職対策合宿研修では、社会人としての基礎力を育成する取組も行っています。ゲーム形式で楽しみながら学ぶグループワークや新聞記事から学ぶ文章力養成講座など、実践的なプログラムを

集中的に実施しています。今年は一年生から三年生の50人が参加して盛況でした。学生たちの意識も高まっていると実感しています。

きめ細かい就職支援と地域連携 企業とともに未来の人材育成を図る

就職率は「いかに人材育成ができていくか」の指標にもなると思っています。ある雑誌で、本学工学部の就職率が工学系大学で全国3位と紹介されました。地域の発展に貢献できている証であると自負しています。

本学では、充実した就職支援制度を導入し、すべての教員が面接などを直接指導し、就職活動の支援を行っています。また、キャリアサポート課を設置し、スタッフが内定状況を把握して、適切なアドバイスをするという取組も行っています。

大学独自で企業説明会も実施していて、毎年

首都圏・東北6県から多くの企業が集まっています。多くの企業を知り、実際に企業の方と話をすることは、学生にとって、社会人基礎力の向上にもつながっていると思います。さらに新しい取組として、本学では、東北学院大学ほか県内の11高等教育機関と共に「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」を進めており、強みである「創造的インターンシップ事業」を自治体や関係機関と協働で推進させています。この成果を全体で共有することで、教育機関全体の機能強化の推進や、創生の中心となる課題解決能力を持った「ひと」や「技術・情報」の地方への集積を進めていきたいと考えております。

東北工業大学
1964年の創設以来、3万人を超える卒業生を輩出し、地域の産業・経済の発展に大きく貢献してきた。2008年度から工学部に加え、ライフデザイン学部が新設され、文理融合大学として生まれ変わっている

所在地
八木山キャンパス：仙台市太白区八木山香澄町 35-1
TEL 022-305-3311
FAX 022-305-3146
<http://www.tohtech.ac.jp/>

こんな人材を育てている



東北工業大学 工学部 環境エネルギー学科 教授
就職委員会 副委員長
小祝 慶紀さん

こいわい ひろのり
小祝 慶紀さん